

プログラム名	探究ゼミ		
団体名	一般社団法人ユースキャリア教育機構		区分 講 義
対象者	☐ 小 ☐ 中 ☐ 高	全校種で実施可能	対象分野 ☐ 学校 ☐ 学外

プログラムのねらい	
○生徒自身が自分で「気になること」「やりたいこと」を見つけること ○些細な興味ややりたいことから、自分なりのアクションが社会に対してできることに気付く ○0→1 がそこまで難しいものでないことに気付いて行動できる	
プログラムの内容	必要コマ数 20 コマ
【内容】 自らの興味分野から実社会や実生活を見つめ、課題を設定。そして、その課題を自分なりに情報収集・分析をし、企業連携やイベント開催、SNS 運用など様々な自分なりの方法を考えアクションを起こす PBL 型授業プログラム。独自教材・弊機構が開発した独自ボードゲームを使いながら、考え方を学びながらインプットとアウトプットを並行して行っていく。 【流れ（目安）】 《1 回目から 3 回目》 まず、関係づくりとモチベーション形成を行う。 《4 回目から 5 回目》 自らの興味分野を分析し、実社会や実生活を見つめ、課題設定を行う。 ・自分の好きなことと嫌いなことを分析する（何でもよい）。 ・嫌いなことから、解決したい課題を見つけ、プロジェクトとしてやりたいこと (Will)、やれること (Can)、ニーズがあるかどうか (Need) を分析して、テーマを設定する。 《6 回目以降》 設定した課題の解決に向けて、各々施策の試行錯誤を行っていく。 《20 回目》 最終発表でプレゼンを行う。 ※授業回数含め、あくまで一例である。 【実施にあたっての条件および特徴】 実施にあたっては、当社団所属の大学生を派遣し、毎回の授業設計から授業運営、生徒の進捗把握までを行う想定。内容に大きく差が生まれるが、高校生少人数に対して担当大学生を 1 人プロジェクト開始から終了までつけて長期間手厚くフォローができ、個別最適化を図れる点が本プログラムの強み。また派遣する大学生に関しては研修を実施しており、高いレベルのプロジェクトにも対応可能。 授業回数や内容、授業形態等は、各学校の事情を伺ったうえで、柔軟に対応可能。20 回の授業は通年実施の場合で想定しているが、例えば規模を縮小して 1 学期間のみで行う等の調整は柔軟に行う。	
令和 5・6 年度実績	☐ 小学校 ☒ 中学校 ☒ 高校 ☐ 特別支援学校 ☐ その他（ ） 令和 5 年度実績（都内） 5 校（回） 令和 6 年度実績（都内） 6 校（回）
	☐ 教科（ ） ☐ 道徳 ☒ 総合的な学習の時間 ☐ 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） ☒ 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） ☐ 教員対象研修 ☐ PTA 等保護者対象研修 ☐ 学童クラブ・児童館等のイベント ☐ その他（ ）

支援活動の概要紹介			
「U29 が楽しく自己実現できる環境をつくる」をコンセプトに、企業や行政と連携して様々な事業・イベントを展開。そのうちの教育事業として、都内を中心に探究学習のコーディネートや授業実践を行う。それ以外にも、キャリア教育やアントレプレナーシップ教育に関する講演や、デザインやプレゼンテーション等のスキルに関する講座を小学生から社会人まで幅広い層に向けて実施している。			
対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談（実費等）
その他 会場・定員・必要備品 などについて	必要経費と併せて要相談		
連絡先	部署名・担当者	教育事業部統括部長 久保寺康介	
	プログラム紹介 WEB	https://district-of-education.jp/	
	電話	090-6765-2398	
	e-mail	youth@oyce.co.jp	